

造形・意匠（A 専門科目）

=====

科目名：

造形・意匠（英文科目名：Architectural Form）

1 単位 建築学科 4 年 後期 講義

担当教官：

齋藤千明（非常勤講師）

授業目的：

デザインの基礎的な造形力を養い、目的や条件、意図に応じた表現方法を修得する。

達成目標：

色彩や形の持つイメージを理解し、表現にまで発展させる。

模型制作に必要な技法、材料の理解。

アイディアを具体化し、作品を各種デザインコンペに応募する。

教科書：

各種建築、デザイン関連書籍

参考書：

各種建築、デザイン関連書籍

学習方法：

予習-課題内容により、予め資料となるものを各自用意すること。

授業-実習においては、授業時間内に作業が終了できるよう、計画的に進めること。

復習-与えられた課題のアイディア、ラフスケッチをまとめ、授業時間内にラフチェックが出来るよう進めておく。

学習保証時間：

講義 100 分[時間/週] × 3 [週/後期] +

実習 100 分[時間/週] × 12[週/後期] = 25.0 時間/年

キーワード：

色彩とイメージ、フィニッシュモデル、画面構成、生活デザイン、近代デザイン史

授業内容：

1.モデリングの技法について

素材研究（アクリル系メディウムと絵具、型取り剤、シリコンゴム）・・・2 週

2.エアースプレー実習・・・・・・・・・・・・・2 週

3.色彩構成・・・・・・・・・・・・・2 週

4.近代デザイン史（18 世紀後半からグラフィックデザインを中心に）・・・2 週

5.コンペ制作・・・・・・・・・・・・・5 週

6.中間講評・・・・・・・・・・・・・1 週

7.仕上げ、提出・・・・・・・・・・・・・1 週

授業方法：

カリキュラム中の位置づけ：

建築とデザイン、その領域について学び、日常においてもデザインの眼をもって観察し、考える態度を養うための授業となる。

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

造形・意匠

この科目と同時に学ぶ関連科目

特になし

この科目の後に学ぶ関連科目

特になし

評価方法：

試験は行わない。課題の評価を総合する。課題・レポートの提出が遅れた場合、授業態度や欠課により減点する場合もある。課題未提出者は採点評価外とする。

連絡事項：

実習に必要な材料、資料などは忘れないこと。特にコンペ制作の場合は決められた提出期限を守ること。

学生へのメッセージ：

授業の中心は「考える、発想する」ということです。

卒業設計にも応用できるよう、基礎的な表現方法を身につけて欲しい。

= = = = =